

人権・いのちの尊厳を守る指針示される

6月16日・17日に第45回全国医療研究集会在長野で開催されました。全国から730名が参加、病院支部からは5名が参加しました。オープニングではうたごえ協議会の皆さんの平和への強い思いが込められたうたごえが会場を包み、佐久総合病院演劇部による記念演劇『志願兵』では、戦争の悲惨さが参加者の胸を突き刺しました。「戦争に反対し、平和を願うことは、病院で患者さんの命を守ることと切り離すことができない」と劇団部部長は語りました。

基調報告では、実行委員事務局の鎌倉幸孝さんが人権や医療研運動を発展させる取り組みについて報告されました。

基調フォーラムでは、パネリストの4名の先生方がそれぞれの観点から医療研運動の意義を訴えました。

◆横山 壽一 先生（公益財団法人日本医療総合研究所副理事長・佛教大学教授）

- ・経済再生と財政健全化を名目とした、政府による社会保障の切り捨てとその手法
- ・医療介護提供体制の将来性
- ・「医療研究活動を通して個々の課題を見据えつつ情報交換を行い、運動の担い手を育てる場としていくことが大切」

◆依田 発夫 先生（元国民医療研究所事務局長）

- ・医療研運動の歴史
- ・「医療研運動は医療労働者と組織の成長に繋がってきた」

◆北澤 彰浩 先生・若月 俊一先生（JA長野厚生連・佐久総合病院）

- ・農民、地域住民とともに実践してきた医療の歩み
- ・「労働組合とも協力しながら全職員で地域医療を守ってきた」

医療・介護・福祉にかかわる私たちが、地域医療と患者を守るために何をしていかなければいけないのか指針が示されたフォーラムでした。



『志願兵』の一場面

夏季一時金2.175月分 6月29日に支給（再任用1.1月分）

今年の都労連夏季一時金闘争は「働き方改革」が叫ばれ、職責・能力・成績主義強化、組織の生産性向上をさらに推し進める課題認識を示す情勢の中、闘争してきました。都側は5月24日に回答し、現行条例・規定通りとしました。日夜、都民サービス向上に頑張っている職員の思いに十分応える内容とは言えません。今後、すべての職員の大幅賃金引上げをはじめとする要求実現に向けた取り組みを継続して行けるように職員が一丸となって、運動に取り組んでいきましょう。

人事委員会要請署名：
職場の要求を人事委員会に
届けよう！
病院支部締め切り6月26日



<当面の日程 2018>

- 6/21（木）都労連第73回定期大会
- 7/12（木）病院支部女性部定期大会 13時開会
第二庁舎10階都労連会議室
意見を持ち寄りましょう！代議員募集中！
- 7/14（土）病院支部現業評議会定期総会
15時～ 会場：駒込病院

発行 都庁職病院支部

〒163-8001 新宿区西新宿2-8-1 第二庁舎32階 直通03-3349-1711 FAX03-3349-1713
E-mail: mail@t-byoinsibu.jp URL http://www.t-byoinsibu.jp

@Byoinsibu_Tocho 都立病院のお役立ち情報を発信しています
あなたの職場の健康度は？いまずくチェック →



LINE@
都庁職病院支部

職場の悩み相談に乗ります
LINE@アプリの登録が必要です



都立病院で働くしづ子さんが
つぶやいています。
共感することもあるはず！



#看護師のしづ子さんで検索